

グローバル2000、フォーチュン500を含む大企業や中企業、政府機関、ISPに推奨

WatchGuard® Extensible Content Security (XCS) アプライアンスは受信・送信Eメールのセキュリティとプライバシーを厳しく保護します。XCSをウェブセキュリティ サブスクリプションとのバンドルにすると、Eメールとウェブトラフィックを総合的にコントロールできるパワフルな統合型保護が実現できます。

XCSソリューションの利点

XCS Eメールおよびウェブセキュリティソリューションには、次のような特長があります。

- 複数のプロトコルに対する効果的な統合型コンテンツセキュリティおよび脅威の防御
- すべてのEメールおよびウェブトラフィックの完全可視性とコントロール
- 規制準拠に必要なツールと情報
- 複数ポイント用に複数のソリューションを実行するコストと管理労力の大幅な低減

これらにより、業界規制に準拠した確実な保護と総保有コストの低減が実現でき、より長い時間をITの重要事項に焦点を当てるのが可能になります。

XCSプラットフォームは、“...Eメールの量、悪意のあるEメールベースの攻撃へのエクスポージャーを大きく削減してくれました。”

Puget Sound Blood Center
ネットワークサービス スーパーバイザー
Stan Prothero氏

 地球に優しいテクノロジー

WatchGuard XCS™ 770, 970, 1170



ネットワークの送受信トラフィックの安全とプライバシーを保証するXCSアプライアンス

スパム防御

- Reputation AuthorityはXCSの「クラウドの中」にある主要コンポーネント。不要Eメールの98%を水際で遮断し、帯域幅を大きく広げて脅威のネットワーク侵入を阻止します。
- アンチスパム エンジンで送信者情報とコンテンツを確認。これには画像、添付ファイル、埋め込みURLも含まれます。自動的にメッセージトラフィックを文脈分析し、カテゴリ分類および加重スコアを負荷することにより、高度にインテリジェントな保護を可能にします。
- スпамと疑わしいEメールの検疫で不要なスパムをローカルの検疫サーバーに転送することにより、エンドユーザーは操作の簡単なウェブベースインターフェースを介して検疫済みのメッセージ、安全リスト、阻止リストを管理できます。

ウイルス、スパイウェア、マルウェアからの保護

- ゼロアワー脅威アウトブレイクスポンスで脆弱性をシャットアウト。攻撃の開始からスキャンフィルタのアップデートの開発・配布までの間も、ゼロアワー脅威発生防御を怠りません。
- 高度なコンテンツフィルタリングとマルウェア防御により、送受信Eメールをスキャンし、混合脅威による悪意のあるコンテンツを検知します。

プライバシー保護とコンプライアンスを目的としたデータ損失防止

- 可視性のある改善機能により、ユーザー設定可能なポリシーに基づいてメッセージの阻止、検疫、転送、ブラインドコピー送付、暗号化、許可を自動的に実行し、データ漏洩を阻止します。
- 事前定義済みコンプライアンス辞書。GLB、HIPAA、PCIなどの規制用の辞書はポリシーの規定に基づいてカスタマイズでき、リアルタイムデータ損失防止と産業別規制準拠を可能にします。
- シームレスなEメールの暗号化 (XCSプラットフォーム用アドオン機能)により、秘密のメッセージも安全に配信。専用サーバーを置く必要がなく、殆どの暗号化テクノロジーに関連するコストを切り捨てることができます。
- Eプロファイリング・データディスカバリーと分類を使用して機密データのファイルを分類。これにより、検知すべきコンテンツと、送信通信にこのようなコンテンツが見つかった場合の措置をシステムに教えます。
- 集中型のデータ損失ポリシー管理により、複数プロトコルに1つのポリシーを適用。移動中のデータを損失やポリシー違反から保護します。

いつでも信頼できるEメールのセキュリティ

- ダイナミックなオンデマンド・クラスタリング機能により、複数システムにおける設定とメッセージキューのコピーが数分ででき、冗長性とスケーラビリティを拡張して稼働時の効率を最大限に高めます。
- 高レベルの冗長性により、コミュニケーションが一部たりとも失われなことを、そしてEメールセキュリティがいつでもオンであることを保証します。

保護をウェブトラフィックにまで拡大できるウェブセキュリティ サブスクリプション

- 容認できる使用とアプリケーションコントロールにより、ユーザーやグループを対象とした詳細なポリシーに基づくインターネットとアプリケーションの使用を集中管理・制限。これには、強力なコントロールやより柔軟なコントロールを取り扱う時間ベース、IPベースのポリシーも含まれます。ウェブの不正使用や脅威エクスポージャーを低減。
- URLフィルタリング&分類により、コンテンツとポリシーに基づいて、ウェブサイトへのアクセスをダイナミックに分析・阻止します。悪意のあるウェブサイトと不正なウェブサイトに対するネットワーク防御体制を、即時かつ的確に整えます。
- クラウド中のURLに対するリアルタイムインスペクションで、各URLを実行中の接続レベルで分析し、リスクレベルを判断。不正や脅威を含むURLはネットワークの入り口以前で阻止され、安全で速いウェブサーフィンを保証します。
- ウェブトラフィック強化には、ウェブキャッシュ、強化HTTPスキャン、大型ファイルのダウンロード、一本化を実現するメディアサポートが含まれ、使用帯域幅、サーバー負荷、ウェブトラフィックのレイテンシーを低減します。
- 管理レポートングツールでは、ウェブセキュリティの全体像を見ることができます。ユーザー別レポートや、ウェブ使用とウェブ脅威をモニターするためのウェブダッシュボードが含まれます。

	XCS 770	XCS 970	XCS 1170
	中企業	大企業	フォーチュン500/ グローバル2000企業
スループット			
1時間当りのメッセージ数	75k	100k	150k
シャーシ/プロセッサ			
フォームファクタ	1U浅形、ラックマウント式	1U深形、ラックマウント式	1U深形、ラックマウント式
寸法	1.7" x 16.8" x 14"	1.7" x 17.2" x 25.6"	1.7" x 17.2" x 25.6"
重量	17 lbs.	42 lbs.	42 lbs.
CPU	Intel Xeon クアッドコア プロセッサ	Intel Xeon クアッドコア プロセッサ	Intel Xeon クアッドコア プロセッサ (2個)
電力	固定式、200W、ユニバーサル100/240V	冗長性ホットプラグ、650W、ユニバーサル100/240V (2個)	冗長性ホットプラグ、650W、ユニバーサル100/240V (2個)
ストレージ			
RAID	-	RAID 1	RAID 10
メモリ	4GB (2 x 2GB) DDR2 667MHz	4GB (2 x 2GB) DDR3 1066MHz	4GB (2 x 2GB) DDR3 1066MHz
HDD	160GB SATA, 7.2K RPM	160GB SATA-II, 7.2K RPM (2個)	146GB SAS, 15K RPM (4個)
接続			
イーサネット	3 Intelギガビットイーサネット	4 Intelギガビットイーサネット	4 Intelギガビットイーサネット
シリアルポート	1 RS-232 (DB-9)	1 RS-232 (DB-9)	1 RS-232 (DB-9)
温度			
動作	32°F~113°F / 0°C~45°C	32°F~113°F / 0°C~45°C	32°F~113°F / 0°C~45°C
保管	-40°F~158°F / -40°C~70°C	-40°F~158°F / -40°C~70°C	-40°F~158°F / -40°C~70°C
相対湿度			
動作	10%~85% 結露なし	10%~85% 結露なし	10%~85% 結露なし
保管	5%~95% 結露なし	10%~85% 結露なし	10%~85% 結露なし
高度			
動作	0~9,843 ft (3,000 m)	0~9,843 ft (3,000 m)	0~9,843 ft (3,000 m)
保管	0~15,000 ft (4,570 m)	0~15,000 ft (4,570 m)	0~15,000 ft (4,570 m)

集中管理とレポート

「設定するだけ」の管理で、単一ポリシーを使って複数プロトコル上の送受信トラフィックをコントロール。これにより、メッセージ境界線の防衛に費やされる時間が短縮でき、ビジネス価値の高いITプロジェクトに集中できるようになります。

総合ビューで複数プロトコル上のネットワーク送受信活動を監視でき、セキュリティギャップを除去。ポイント別のソリューションに必要な管理努力を低減できます。

統合型システムレポートへは1回のクリックでアクセス。レポートを特定の期間や多様な形式にカスタマイズできます。エクスポートやローカルでの保存が簡単にできる時間別、機能別、グループ別のレポートで監査要件をクリアしましょう。

専門家によるガイダンスとサポート

XCSアプライアンスには、LiveSecurity Serviceのサブスクリプション*がもれなく付録されています。この総合的なサポート&メンテナンスプログラムでは次のアイテムが提供されます。

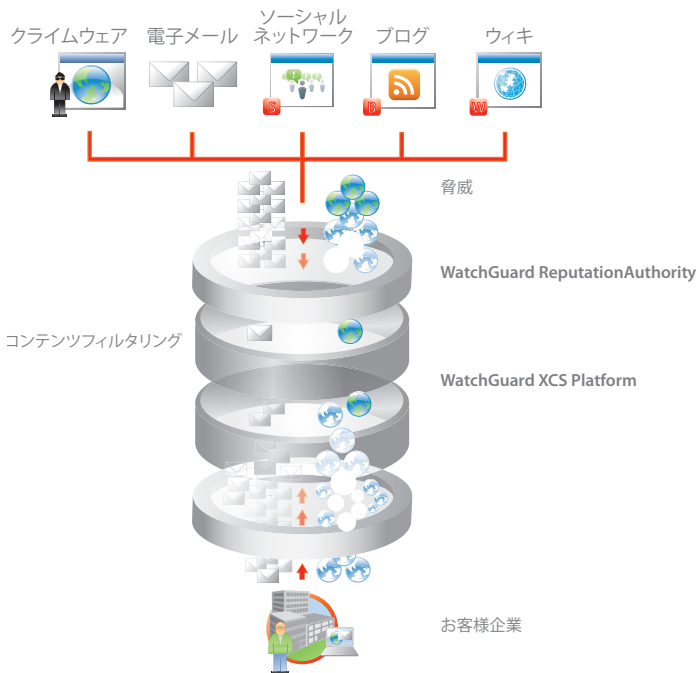
- **ハードウェア保証書**。高度なハードウェアとの交換も可能
- **技術サポート**。応答は4時間以内
- **ソフトウェア更新**
- **脅威アラート**

詳細はwww.watchguard.com/livesecurityでご覧ください。

*1年、2年、3年のサブスクリプションがあります。

不要なトラフィックの98%を外側で遮断

XCSはWatchGuard ReputationAuthority™を使用して、悪意のある送信者を特定し、リアルタイム行動に基づいて98%以上の脅威を阻止します。これは単に送信者の評価だけではなく、リアルタイムでのIPアドレスの行動を総合的に見て判断することを意味します。複数のプロトコルで相互リファレンスやデータ分析を実行することで、悪意のあるトラフィックや不要なトラフィックがネットワークに侵入しないことを保証します。



広範囲にわたる防御のためのコンテンツフィルタリング

送信・受信Eメールトラフィックが複数レイヤによるインスペクションを受けます。インスペクションの対象はコンテンツ、画像、送信者情報などで、包括的な検査を受けてコンテンツベースの加重スコアが算出されます。このスコアは、送信者、メッセージの内容、メッセージの構成、受信者にアクションを講じるよう指定している場所によって決定されます。これにより脅威の疑惑レベルが決定され、安全な通信のみがネットワークへの侵入を許可されます。

リアルタイムデータ損失防止

XCSは、ユーザーが設定したポリシーに基づいて、複数のプロトコル上を移動中のデータを阻止、検疫、許可、暗号化、転送できるリアルタイムのソリューションで、広範囲にわたるリスク管理とポリシー実施境界を設定し、複数ポイント製品の必要性を排除し、ポリシーとコンプライアンスを保証します。

セキュリティギャップを取り払い、総合的なセキュリティを可能に

XCSでは、IT管理者が複数のプロトコルに対して、1つの画面でポリシーを作成・管理・実施できます。総合的なレポートは、Eメールトラフィックとウェブトラフィックを含むすべてのメッセージ媒体を介して、ネットワークに存在するコンテンツやネットワークに進入してくるコンテンツをすべて検知できる可視性を提供します。